

Q&A 暑さ寒さ篇

Q&A 暑さ寒さ篇

家は、365日、私たちの生活を守ってくれるシェルターです。高温多湿な夏と寒い冬とがある日本に暮らすにあたって、季節とどうつきあっていくかは大事な問題。「夏暑すぎず、冬寒すぎない家に住みたい」誰しもそう思うものです。住宅の温熱系に着目したいろいろなシステムができていてメーカーでは「一年中同じ気温室温で、いつも快適に」を売りにしているところも多いようですが、伝統的な構法による木組みの家では「自然な温熱環境」を大切にします。寒さ・暑さをしのげる家であることを前提に、季節に合った住まい方をする。それが、木の家づくりのスタンスです。

Q1.

高気密・高断熱が注目されていますが、木組みの家は高気密・高断熱ですか？



Q1.高気密・高断熱が注目されていますが、木組みの家は高気密・高断熱ですか？

木の家ネットのつくり手がつくる家では暑さ、寒さをしのげる家を考えるにあたって、断熱性を高めることによって性能を上げる、というのがおよそ共通の基本姿勢です。気密性ということであれば、日本の昔の木の家の一つの悪いイメージとして定着している「すきま風で、冬、寒い」という点は、たしかに解決が必要です。しかしすきま風はシャットアウトしながらも、高温多湿な夏がある日本では、通気性の確保も重要なことです。外気が流通できるような風通しのよいプラン、壁に結露させないために真壁にすることで、住まい手の健康のためにも適度に空気を入れ換えることなどが大事です。

Q2.

木の家だと夏暑かったり、冬寒かったりしませんか？



Q2. 木の家だと夏、暑かったり、冬、寒かったりしませんか？

まず、素材が木や土といった呼吸する自然な材料であることが、季節をしのぐ助けをしてくれます。まず、無垢の（塗装をしていない）木や土壁は呼吸するため、温度や湿度を適度に保つというすばらしいはたらきをもっています。4寸角の無垢の柱一本でビール瓶1本分の水分を吸ったり吐いたりするはたらきをもっています。外気が湿っていれば吸収してくれ、乾燥していれば水分を放出してくれます。そのため、じめじめした梅雨から夏にも結露が起きにくく、そして冬は冬で、空気がカラカラになることがないのです。また、無垢の床板は、冬でも素足に冷たくないものの。サーモグラフで板の表面を測ってみれば塗装したフローリングの床と大した差はないのですが、実際に歩いてみると、体感温度が全くちがうにおどろきます。特に針葉樹の木肌はたくさんの細胞の穴があいた「ポーラス空隙」という、多孔質の状態になっているため、人間の足の温度を反射してくれ、それで、とてもあたたかいのです。冬の日射しが無垢の床板にあたるようにするとなおいいですね。これは冷たい空気の遮断・断熱ではなく、蓄熱の効果です。ある程度の厚板でないとうしたはたらきは発揮されません。例えば、室内真壁、外大壁、壁内に断熱用の空気層をつくった家で、屋内外の温度を測定してみたところ、冬の外気温が-10度の時でも室内は10度前後で快適でした。

Like 0 0 コメント

木の家イベントカレンダー

最近の特集記事

- 2019年6月15日
やさしくて強い、理想の家を求めて：アイ設計研究室 大前泰秀さん
- 2019年5月15日
磨き上げた職人技で、木を生かす：西岡建築一級建築士事務所 西岡健一さん
- 2019年4月20日
大工と左官の職人プロジェクトチーム 総合建築植田 植田俊彦さん 俊司さん
- 2019年4月10日
本物の家づくりを、自由に、楽しんで：株式会社木神楽 高橋一浩さん
- 2019年1月5日
新春特集 2018年のベストショット集
- 2018年12月29日
板倉仮設住宅 移設ものがたり part3 大工の声&今後の課題編
- 2018年12月17日
板倉仮設住宅 移設ものがたり part2 実録編
- 2018年12月14日
板倉仮設住宅 移設ものがたり part1 概要編
- 2018年9月4日
番匠 鋳持工務店 副棟梁・鋳持大輔さん
- 2018年8月15日
鶴岡総会予告 その1 散るより、生き延びよ！

人気のある記事

- 伊勢神宮遷宮・御袖始祭り：300年の大木を伐る！ 16件のビュー
- 冬の温熱調査合宿報告 15件のビュー
- 日本人の暮らしと木 13件のビュー
- 大工たちによる「家戻し」の記録 12件のビュー
- 設計士・丹羽明人さん(丹羽明人アトリエ)：納得できる答を探して 11件のビュー
- 第三回これ木連フォーラム「伝統構法はこれからどこへ向かうのか？」の報告 11件のビュー
- 「職人がつくる木の家」づくりを未来につなげるアンケート 11件のビュー
- 古川 保の熊本市川尻町 震災日誌 11件のビュー
- 込み栓角ノミ 復活！松井鉄工所訪問記 11件のビュー
- サツキとメイと私の家：愛・地球博レポート 10件のビュー

この記事のタグ

木の家Q&A
環境と共生する家づくり

同じタグがついた別の記事

2002年1月25日
Q&A：環境篇

関連する記事はこちら



Q&A：環境篇



2/16 衆議院第二議員会館調査報告会レポート



地域型住宅の省エネルギーを探る〜2016.1.17 京都フォーラム報告



里山循環大工：池山琢馬（一峯建築設計）



大場江美さん(サステナライフ森の家)、日影良孝さん(日影良孝建築アトリエ)：手のひらに太陽の家

地域別つくり手リスト

北海道・東北	関東（東京以外）	甲信越・北陸	東海	関西	中国・四国	九州
北海道	栃木県	新潟県	岐阜県	滋賀県	鳥取県	福岡県
青森県	群馬県	富山県	静岡県	京都府	岡山県	佐賀県
岩手県	埼玉県	石川県	愛知県	大阪府	広島県	長崎県
宮城県	千葉県	福井県	三重県	兵庫県	山口県	熊本県
秋田県	神奈川県	山梨県		奈良県	徳島県	大分県
山形県	関東（東京）	長野県		和歌山県	香川県	
	東京都				愛媛県	
					高知県	

1 2

Like 0 ポスト

Q3. 夏涼しく、冬あたたかい家づくりのために先人から伝えられてきた知恵について教えてください。

昔ながらの木の家づくりに学ぶといっても、世の中や生活感覚が昔のままではないのですから、改善すべき点はたくさんあるでしょう。たとえばクーラーの排気熱による暑さや、涼しさをつくってくれる木陰や緑のなさ、CO2の排出による温暖化など、昔にはなかったような問題も山積みですし、生活水準が全体的にあがって、何もかもが便利になっている中で、寒さ・暑さは「我慢すればいい」と言い切れるものでもありません。ただし、先人の長年してきた家づくりや住まい方の中には、これから未来にわたっても示唆に富んだ工夫がたくさんあります。それを3つのポイントに整理してみました。

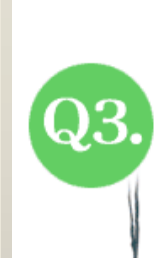
- 無垢の木や土壁の厚みで自然の呼吸作用を取り入れる
- 風通しと日当たりに配慮したプラン
- 日常生活の中でできる季節ごとの住まい方

- の木や土の呼吸作用や蓄熱作用については前項で述べました。
- の間取りについては、まず、通気性、つまり風通しがいい家を考えることが第一です。腐ることもなく、耐久性よく長持ちします。床下への配慮も忘れてはなりません。風が通らず、雨もたまるような構造では、土台から腐ってしまいます。次に、夏の強い日射しをシャットアウトしながら、冬の低い日射しはなるべく取り込むこと。昔からの長い軒の民家は、うまくそれができています。敷地がせまいところでも風の道や日当たりのための空間を残すことを考えましょう。欲張って敷地いっぱい建てたり、あとからの付け足しの増築で風の通り道や日当たりを犠牲にしまうと、壁や床、瓦裏などに結露するといった厄介な問題が起きやすいのです。
- の生活の知恵では、たとえば歳時記を読むといういろできますよ。夏座敷、風鈴、打ち水、よしず、すだれ、植木など心の面の演出だけではなく、実際に蒸し暑い夏を涼しく過ごすための知恵です。冬でいえば、Tシャツ一枚で快適に、とまで言わずに重ね着をする、炬燵に集まって団らんするという暖の取り方もいいのではないのでしょうか。

暑さ寒さを最終的に機械で調節してしまっ一年中同じ温度で自動的に過ごすよりも、先人の知恵から生かせるものは取り入れつつ、さらに今の暮らしにあった季節のしのごき方&楽しみ方を自ら積極的に創造していくことは、「豊かな生活」ではないでしょうか？

Like 0 ポスト

1 2



夏涼しく冬暖かい家づくりのために先人から伝えられてきた知恵について教えてください。



木の家イベントカレンダー

最近の特集記事

- 2018年3月27日 伝統建築に携わるすべての職人に光を
- 2018年2月7日 「伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」ユネスコ無形文化遺産候補選定のおしらせ
- 2018年1月2日 新春特別企画 2017年のベストショット
- 2017年12月14日 第17期木の家ネット総会：倉敷大会 - 民家改修と曳家-
- 2017年10月14日 気候風土適応住宅のチャレンジができました！
- 2017年9月4日 家のお風呂 こうやって作る、こうやって保つ
- 2017年8月8日 家にお風呂が入るまで
- 2017年6月30日 気候風土適応住宅のスヌメ
- 2017年6月3日 掛川総会 3
- 2017年5月31日 掛川総会 2

人気のある記事

- 伊勢神宮遷宮・御杣始祭り：300年の大木を伐る！ 16件のビュー
- 冬の温熱調査合宿報告 15件のビュー
- 日本人の暮らしと木 13件のビュー
- 大工たちによる「家戻し」の記録 12件のビュー
- 設計士・丹羽明人さん(丹羽明人アトリエ)：納得できる答を探して 11件のビュー
- 第三回これ木連フォーラム「伝統構法はこれからどこへ向かうのか？」の報告 11件のビュー
- 「職人がつくる木の家」づくりを未来につなげるアンケート 11件のビュー
- 古川 保の熊本市川尻町 震災日誌 11件のビュー
- 込み栓角ノミ 復活！松井鉄工所訪問記 11件のビュー
- サツキとメイと私の家：愛・地球博レポート 10件のビュー

この記事のタグ

- 木の家Q&A
- 環境と共生する家づくり

同じタグがついた別の記事

- 2002年1月25日 Q&A：環境篇

関連する記事はこちら

Q&A：環境篇	2/16 衆議院第二議員会館調査報告会レポート	地域型住宅の省エネルギーを探る ~2016.1.17 京都フォーラム報告	里山循環大工：池山琢馬（一峯建築設計）	大場江美さん(サステナライフ森の家)、日影良孝さん(日影良孝建築アトリエ)：手のひらに太陽の家

地域別つくり手リスト

北海道・東北	関東（東京以外）	甲信越・北陸	東海	関西	中国・四国	九州
北海道	栃木県	新潟県	岐阜県	滋賀県	鳥取県	福岡県
青森県	群馬県	富山県	静岡県	京都府	岡山県	佐賀県
岩手県	埼玉県	石川県	愛知県	大阪府	広島県	長崎県
宮城県	千葉県	福井県	三重県	兵庫県	山口県	熊本県
秋田県	神奈川県	山梨県		奈良県	徳島県	大分県
山形県	関東（東京）	長野県		和歌山県	香川県	
	東京都				愛媛県	
					高知県	



事務局
〒711-0906
岡山県倉敷市見島下の町5丁目7-3
見島舎内
mail: jimukyoku@kino-ie.net
tel: 086-486-5464